

# 令和2（2020）年度豊橋技術科学大学体験実習生の募集について（本科生）

本学では、学校教育の充実及び学生の学習意欲の喚起等を目的として、高等専門学校生を対象とした教育研究分野の実習を行っています。受入期間、申込方法等を以下に示しますので、内容・条件をご確認の上、申し込んでください。受入テーマ等の詳細は本学高専連携推進センターHP（以下）を参照ください。

(<https://www.kousen.tut.ac.jp/learning/intern/list/entrance>)



## 1 受入期間

令和2（2020）年度高専体験実習日程：8月17日（月）～9月11日（金）の以下の日

日程Ⅰ：8月17日（月）～ 8月21日（金）（5日）

日程Ⅱ：8月17日（月）～ 8月28日（金）（10日）（OCを挟む）

日程Ⅲ：8月24日（月）～ 8月28日（金）（5日）

日程Ⅳ：8月24日（月）～ 9月4日（金）（10日）

日程Ⅴ：8月31日（月）～ 9月4日（金）（5日）

日程Ⅵ：8月31日（月）～ 9月11日（金）（10日）

日程Ⅶ：9月7日（月）～ 9月11日（金）（5日）

※ 令和2（2020）年度オープンキャンパス（OC） 8月22日（土）

※ 日程Ⅱはオープンキャンパス開催日（8月22日（土））を挟む日程です。

※ 単位認定の関係上10日間必要な場合は、5日のコースで設定されているテーマを2つ選ぶことも可能です。

## 2 実習場所

豊橋技術科学大学の各研究室等

## 3 受入対象及び募集人数

テーマ番号A1011～A5091 高等専門学校の本科4年生又は5年生

新モンゴル高専については、9月に4年生または5年生に進級する学生で、本学への進学を検討する者

合計 100名程度

## 4 実習参加要件

- ・ 意欲的に実習に取り組む姿勢があること
- ・ 本学規則を厳守できること
- ・ 指導責任者の指示に従うこと
- ・ 新モンゴル高専の学生は、実習の遂行に必要なコミュニケーション能力を有すること。具体的には、日本語検定 N3 相当以上、または英語 TOEIC 400点相当以上、あるいはインターネット・インタビュー等により受入教員が実習の遂行が可能と判断した者。

## 5 受入テーマ

本学高専連携推進センターHPより「令和2（2020）年度 高専生体験実習受入テーマ等一覧」を参照ください。

(<https://www.kousen.tut.ac.jp/learning/intern/list/entrance>)

## 6 申込方法

実習希望者は、「申込書」様式に必要な事項を入力の上、各高等専門学校の担当窓口を通じて申し込んでください。具体的手順は、以下に示すとおりです。

- ① 実習テーマを選択してください。
- ② 「申込書」様式(エクセルファイル)を、本学HPからダウンロードしてください。  
(<https://www.kousen.tut.ac.jp/learning/intern/list/entrance/>)
- ③ 「申込書」様式に必要な事項を入力し、申込書を作成してください。  
その際ファイル名は「**高専名氏名(例：〇〇高専〇〇〇〇)**」としてください。
- ④ 「申込書」電子データを**各高等専門学校**の**体験実習担当窓口**に提出してください。  
申込締切日については、所属の高専担当窓口の指示に従ってください。  
(※ 高専から本学への申込締切は**<5月28日(木)17:00必着>**です。)

<注意事項>

- ※1 必ず電子データ(エクセルデータ)で提出してください。  
申込書の書式は変更せずに作成してください。
- ※2 単位認定の関係で10日間必要な方で、5日のコースで設定されているテーマを2つ選ぶ場合、申込書を2つ作成し、ファイル名に1・2と追記ください。

## 7 受入の可否について

申込者多数の場合は、受入者の調整を行います。

6月中旬以降に、申込書記載の各高専事務担当者を通じて、「受入可否及び宿泊施設」についてメールで先行連絡し、後日、文書で正式通知します。正式通知の際に、詳細な連絡事項等も文書で送付します。

※ 受入可否結果の詳細については開示いたしません。

※ 受入「可」となった実習をやむなく辞退する場合は、速やかに、所属高専の窓口担当者に連絡してください。

## 8 結果報告、評価等

必要に応じ、本学受入教員が、実施状況報告書及び訓練生評価書を作成します。

評価の書式は、原則実習生が持参し、実習初日に本学受入教員に手渡しのうえ、実習最終日に受領して帰ってください。持参が難しい場合は、高専からメール等で、本学受入教員へ直接送付をお願いします。

## 9 必要経費

以下の経費は実習生の自己負担となります。

1. 本体験実習に係る交通費
2. 滞在費(学内宿泊施設への宿泊者は、シーツ代400円程度/週を含みます)
3. 食事代
4. 保険料等

## 10 宿泊施設等

体験実習中の宿泊施設として、本学構内の施設を予定しています。

全て相部屋(2人~6人程度/各室の収容能力により異なります)となります。

長期滞在用の居室ではありませんので、必ずしも満足いただけないかもしれません(個人差あり)。個室利用など、より快適な環境を希望する場合は、後述の市内ホテル等をご利用ください。

また宿泊施設として利用する学生宿舎には、テレビやWi-Fi等のインターネット環境はありません。

※宿泊希望者多数の場合は、宿泊ができない可能性があります。その場合、市内のホテル等(1泊・宿泊のみ:5,000円程度)の情報を大学から紹介しますので、各自で予約を行ってください。(8月下旬の日程は例年希望者超過)

(参考) 学内宿泊可能人数 男子 28人/週  
女子 6人/週

<留意事項>

- ・ 実習初日からの宿泊のみ可能です (遠隔地からの参加者で、実習開始日前日の宿泊が必要な場合は、豊橋市内のビジネスホテルをご紹介します)。

※ 実習初日の集合時間

学内施設宿泊者： 10:00 (宿舎説明会から参加)

自宅通学、ホテル宿泊者： 11:00 (開講式から参加)


- ・ **実習最終日終了後の学内宿泊施設の利用には対応できません。**ただし、日程I参加者で翌日に開催される本学オープンキャンパスに参加を希望する場合のみ、延泊が可能です。
- ・ 実習期間は、本学の夏期休業期間中に重なる部分があるため、食堂、売店等施設の利用ができない日もあります。学内の飲食施設が使えない期間は、大学近くのコンビニエンスストアをご利用ください。
- ・ 寝間着、洗面用具等生活用品は各自持参してください。洗濯設備を使用される場合は、洗濯用洗剤もご準備ください。
- ・ 実習期間中も本学宿舎生が生活をしています。そのため宿舎の施設は宿舎生との共用になります。

<宿泊施設概要>

※ 学生宿舎には、テレビ、Wi-Fi等のインターネット環境はありません。

学生宿舎・非常勤職員等宿泊施設には、ドライヤーはありません。

<p><b>学生宿舎談話室 (男子)</b> 学生宿舎A~D棟 (5階建て) の2~4階の談話室を使用予定。 ※エレベータなし</p> 	<p>宿泊費：光熱水料実費 (200円程度/泊) シーツ代 (400円程度/週) 定員：2~3名程度/1室 フローリング又はカーペット、エアコン有り、<b>冷蔵庫無し</b> (電力容量の制約により設置不可) 建物内にトイレ・シャワー・洗面・洗濯設備有り (宿舎生と共用) ※浴室は、学生宿舎共用棟の大浴場を利用</p>
<p><b>非常勤職員等宿泊施設和室(女子)</b></p> 	<p>宿泊費：500円程度/泊 シーツ代 (400円程度/週) 定員：6名程度/1室 和室、エアコン・冷蔵庫・電気ポット有り 建物内にトイレ・浴室 (シャワーのみ) ・洗面・洗濯設備有り (他の宿泊者と共用) 建物内には、他の宿泊者も滞在する可能性あり</p>

非常勤職員等宿泊施設洋室(女子)	宿泊費：2,500円程度／泊 シングル：5部屋
	室内設備：セミダブルベッド・机・椅子・テレビ・冷蔵庫 ・ポット・洋服ハンガー・ユニットバス・浴衣・バスタオル ・フェイスタオル・バスマット・リンスインシャンプー ・ボディソープ・ハンドソープ 建物内に洗濯設備有り（他の宿泊者と共用） 建物内には、他の宿泊者も滞在する可能性あり

<豊橋市内での宿泊について>

- ・希望者には、市内のホテル等（1泊・宿泊のみ：5,000円程度）の情報を大学から紹介します。予約は各自で行ってください。

## 11 その他

- （1）災害傷害保険及び賠償責任保険に加入していることが、受入れの条件となります。
- （2）移動手段は、公共交通機関を利用してください。自動車、バイク、自転車の使用は認められません。実習開始後に自動車・バイク、自転車の使用が判明した場合は、直ちに実習を中止していただきます。
- （3）実習初日に、事前連絡なく、集合時刻を過ぎても所定の場所に集合しない場合は、実習辞退とみなします。

## 12 本件担当

豊橋技術科学大学 高専連携推進センター

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL：0532-44-6596

FAX：0532-44-6547

E-mail：intern@kousen.tut.ac.jp